

新刊案内



「あたしいえでしたことあるよ」
角野栄子／文
かべやふよう／絵



「英語でもよめる スイミー」
レオ・レオニ／作
谷川俊太郎／訳

サイバーセキュリティ読本 ----- 一田和樹
マルクスの三つの顔 ----- 四方田犬彦
宅間守精神鑑定書 ----- 岡江晃
地形観察ウォーキングガイド ----- 目代邦康

画廊の隅から ----- 和田誠
葉子さんの本棚-ビブリア古書堂セレクトブック -- 夏目漱石(他)
原風景のなかへ ----- 安野光雅
たんぽぽ娘 ----- ロバート・F・ヤング



「芥川賞落選」

日本で最も有名な新人文学賞である芥川賞には、太宰治をはじめ津島佑子や吉本ばなななど、受賞できなかった有名作家が数多く存在します。今回は、芥川賞落選に関わる本を紹介いたします。

佐伯一麦『芥川賞を取らなかった名作たち』。芥川賞を取りそこなった作家の1人である著者が、同賞の長い歴史の中から、受賞を逸した名編11編を選び、それぞれの魅力を解き明かします。ゲストの作家や編集者の話、自身の講座の受講生のやりとりも収録されています。

市川真人『芥川賞はなぜ村上春樹に与えられなかったかー擬態するニッポンの小説ー』。2度も候補になりながら芥川賞を受賞できなかった村上春樹。なぜ受賞しなかったのかという疑問を出発点に、夏目漱石から太宰治、そして再び村上春樹へと、日本文学と文学賞の流れを踏まえながら、その内実と未来を論じます。

島田雅彦『芥川賞落選全集 上・下』。現・芥川賞選考委員であり、これまで6回ノミネートされ6回落選という芥川賞最多落選記録をもつ著者による、華麗なる落選の軌跡にして初期傑作集です。巻末には、最年少受賞者・綿矢りさとの対談付き。

10月の休館日

7日(月)、21日(月)、25日(金)、
28日(月)

開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

▷祝日開館

9月16日(月)・23日(月)は、午前10時から午後5時までの開館です。振替休館はありません。

▷臨時休館

蔵書点検のため、9月24日(火)から9月27日(金)まで休館です。ご了承ください。